

令和4年度 墨田区立小梅小学校 学校経営方針

墨田区立小梅小学校
校長 増淵 裕美

1 目指す学校像

小梅小学校に関わる人にとって「魅力ある学校」を創造する

～ 子供たち一人一人が輝き、「夢」や「希望」がもてる学校へ ～



学校の教育目標の達成に向けて教職員が一丸となって、日々、組織的・計画的に展開する教育活動に、「**人の心をひきつけるものがある**」学校

- ◇児童にとっての魅力：自らの成長を実感できたとき
- ◇教師にとっての魅力：児童の成長に手ごたえを感じたとき
- ◇保護者にとっての魅力：児童の望ましい変容を見ることができたとき
- ◇地域にとっての魅力：地域と学校との結びつきを実感できたとき

2 教育目標（本校がめざす児童像）

児童一人一人が知性・感性・道徳心・体力を身に付け、人間性豊かに成長することを願い、

- ・ 思いやりのある子
- ・ 深く考える子
- ・ たくましい子

の育成に向けた教育を行う。

- ①自分を大切にし、友達のよさを認め、相手の気持ちを考えて行動しようとする態度を育てる。
- ②意欲をもって自らが学び、地道に努力し、自分の考えを高めようとする態度を育てる。
- ③心身ともに健康で、最後まで粘り強く取り組む態度を育てる。

3 指導の重点

【1】確かな学力の定着と向上

- 「分かる」「できる」「楽しい」つまり「学びがい」のある授業を実践する。学年間での交換授業の実施
- 校内研究を中心に「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行う。

学びに向かう力や思考力・判断力・表現力を育てる。

○ICT 機器を活用した学習の充実、授業改善（GIGA スクール構想）

○繰り返し学習を行い学習内容の定着を図る

（朝学習・放課後学習の充実、振り返り月間の活用）

○日常的な取組

- ・「小梅学習スタンダード7」の共通理解・定着
- ・学習したことを振り返り、ノートに自分の考えを記述する習慣化
- ・自学の習慣化（朝学習・家庭学習・読書の習慣化）を図る工夫
- ・書くこと・読むことの習慣化

（校長講話作文・俳句づくり・読書感想文・様々なジャンルの文、グラフを読みこなす）

【2】豊かな心を育成する

○いじめや偏見、差別をなくそうとする意識と態度の育成

- ・「いじめ防止教育プログラム」「小梅小いじめ防止基本方針」を基に、集団ルールの遵守、いじめは絶対に許さない指導の徹底
- ・教育心理検査（アイチェック）・いじめアンケートを活用した、いじめ等の未然防止、早期発見・早期対応
- ・特別支援コーディネーターを中心に、SC・特別支援教室の巡回教員と専門員と心理士との連携をとり、特別支援教育の充実を図る

○規範意識を醸成する（主体的に判断し行動しようとする態度）

○児童の自尊感情や自己肯定感を醸成する

- ・寄り添う・励ます・支える・認める・褒める
- ・たてわり班活動の充実

○道徳教育の充実

- ・「よりよく生きる力」を育てる授業実践（交換授業）

【3】体を鍛え、健康に生活する力を培う

○日常的な取組

- ・「体力向上タイム」「1学級1取組」等を通して、運動量確保のための計画的実施体を動かす習慣化
- ・基本的な生活習慣の確立（早寝早起き朝ご飯）
- ・「自分の命は自分で守る」意識の徹底と親子防災教育の実施
- ・未然防止のための「一声指導」は、朝の会・帰りの会で随時行う（安全教育プログラムの活用）
- ・耐える心・我慢する心の育成「もう無理！！」と思ったところから「もう1歩・もう1回」頑張れる体と心づくり
- ・ケガの防止教育（危険の予測や回避の方法）

【4】安心・安全な教育環境づくり

○「学校の新しい生活様式」の徹底と主体的に取り組む態度の育成

（しすぎることは無い、やらずに得る代償の方が大きい）

- 人権教育の徹底（人権教育プログラムの活用）
- 「心の安定」なくして「生活の安定」「学力の向上」はない

4 地域に貢献すべき学校・教職員であることの自覚

- 学校運営連絡協議会の意見を生かす
- 教育活動の積極的な可視化【見えなければ伝わらない】
 - ・保護者会、学校公開、学校行事等で意図や良さや思いを伝える
 - ・各種便り、HP、正門の掲示板等による積極的な情報発信の工夫
 - ・努力を認め讃える場の設定と、校長講話作文の掲示のさらなる充実
- 「おもてなし」の気持ちが表れる対応をする
 - ・来校者、保護者への挨拶は、率先して**元気2倍**で行う
 - ・丁寧な電話対応、用件の確実な伝達
- 地域の歴史・文化・人材等の教材化を図る
- 地域・保護者と時間や思いを共有する

PTA 活動・地域等行事・おやじの会行事等に積極的な参加で、太く強い「つながり」を築くことを重視＝「共感・仲間」

5 組織力を生かす

- 管理職⇔主幹⇔主任⇔教諭のラインを明確にし、全員体制で取り組む

「4つの◎」（挨拶・集まり・後片付け・安全）の徹底
特に重点課題は「挨拶」「よい生活の習慣化」をめざし同一歩調で徹底
- 同僚性の重視・チーム学年 チーム専科の重視

疑問なこと、困ったことが生じたとき、支援が欲しいとき等、躊躇せずヘルプの声を出す又それに気付く。
- 評価を生かす

PDCA に基づき短いスパンでの分掌ごとの評価&学校評価（保護者・児童・学校運営連絡協議委員）を教育活動の改善につなげる。
- 教員の強みを生かす

6 服務に対する厳正な態度

- ◎服務事故防止
 - ・公教育に携わる者としての自覚（服務事故の代償の大きさを理解）
 - ・体罰・不適切な指導の根絶（プロの教育者としての冷静さ）
 - ・個人情報の管理の徹底（記録簿・テスト等の持ち出し・放置厳禁）
 - ・法令を遵守する公務員としての自覚をもつ

※整理整頓ができないのは甘えである：1日3回10秒整理から
※互いに、注意できる関係を築く
※「自分は事故を起こさない！」という過信・「これくらいなら大丈夫！」という安易な認識は、危険である

事故発生時には、ためらうことなく、即時報告！

7 働き方改革（できること、身近なことから校務改善）

- ・ ライフ・ワークバランスの実現に向けた意識改革
- ・ 学校経営支援部の充実
- ・ 学年専科主任が時間コントロールを
- ・ 教員の勤務残業時間 **月45時間以内**（振り返りそして改善）

※教職員が健康でなければよい教育はできない。教職員の健康管理やメンタルヘルスについては管理職だけでなく、お互いに相談できる学校の雰囲気を作ることが大切である。

明るく元気で爽やかに毎日を送れる、小梅小学校の**教師集団**であり続けたい

1. 45分の授業を毎時間大切に、今日を充実して生きる**今日師**
2. 児童の心に寄り添い、思いを受け止め心を開き、気持ちを通じ合わせられる**響師**
3. 毎日の児童の成長を、地域・保護者と共に喜び、共に歩み続ける**共師**
4. 教育公務員として信念をもち、責任ある行動をとり、高く強い志をもった**強師**
5. 学校運営を常に自己の課題としてとらえ、組織で力を合わせられる**協師**
6. 1日1日の指導を振り返り、確実に自己を高め努力をし児童の手本となれる**鏡師**
7. 児童・保護者・地域住民から尊敬され慕われる**教師**